

生体制御医学実験実習

12 単位 (選択) 1 年 (通年), 2 年 (通年), 3 年 (通年)

Molecular Medicine Seminar

佐々木卓也(授業責任者)・教授/プロテオミクス医学専攻 生体制御医学講座, 足立昭夫・教授/医学専攻 微生物学講座, 中堀豊・

松本俊夫・教授/プロテオミクス医学専攻 生体制御医学講座, 六反一仁・教授/プロテオミクス医学専攻 生体制御医学講座, 桑原知己・准教授/医学専攻 微生物学講座

内山恒夫・准教授/医学専攻 微生物学講座

【授業目的】 ポストゲノム時代の医学研究の中心となるプロテオミクス研究の基本理論と実験技術・戦術を, 具体的な研究テーマのもとに指導する。

【授業概要】 生体はその生命活動を維持するため, たえず分子間ネットワークに基づく生体制御系によって恒常性の維持を図っており, 疾病はこの制御系の破綻の結果である。プロテオミクス研究を基盤とした分子間ネットワークの研究から疾病の機序解明, さらにはその予防・治療法等の開発を行うことが生体制御医学講座の目標である。この目標達成に必須な種々の技法, 解析法に習熟して研究遂行能力を高めるよう本実験実習で学生を指導する。また, 実験成績に基づいた作業仮説の立案と実証, 修正のプロセスを学ばせ, 最終的に研究成果を学術論文にまとめる方法を指導する。

【履修上の注意】 特になし

【授業計画】

大項目

1. 各分野においてリサーチカンファレンス, 抄読会を行うと共に, 研究指導, 技術指導, さらには, 研究成果の発表の仕方, 論文作成指導を随時に行う。

【成績評価】 受講状況と演習内容の理解の程度に応じて評価する。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217590>

【連絡先】

⇒ 佐々木 (088-633-9223, sasaki@basic.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 足立 (088-633-7078, adachi@basic.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 中堀 .

⇒ 松本 (088-633-7119, toshimat@clin.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 六反 (088-633-9007, rokutan@basic.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 桑原 (088-633-9229, tomomi@basic.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL

⇒ 内山 (088-633-9232, uchiyama@basic.med.tokushima-u.ac.jp) MAIL

【備考】 これからの医学研究は, いかなる研究領域においても, プロテオミクスの思考と実験技術を理解し, 習得することなく, 進めていくことはできない。したがって, 将来何らかの形で医学研究に携わることを希望する者は本実験実習を選択することが望ましい。